

共生型デイサービス懐

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			定員数に応じた広さを確保している。雨天時の送迎、屋外の誘導等改善が必要なため今後検討する。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			共生型放課後等デイサービスの為、高齢者、障がい者にも対応できるよう、必要数以上の職員を確保している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			共生型であり介護保険の事業所でもある為、スロープ、手すり等を設置している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			毎月、会議にて、事業所の目標を達成できたか等を確認している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		今回より実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>		今回より公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現段階では第三者による外部評価を実施していない。今後の外部評価を実施出来るよう検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			定期的に社内研修を実施している。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			サービス開始前に、サービス等利用計画に沿って、本人、家族等に情報収集を行い、その情報を基に計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		事業所で作成したアセスメントを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			介護、機能訓練、看護等、他職種でプログラム（個別計画）を立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			プログラム（個別計画）の実施、評価、必要であればその都度、プログラム（個別計画）の継続、変更等を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平日と休日に応じて活動内容を変更している。

支援の提供	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			サービス開始前に毎回職員ミーティングを実施している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援計画に沿って、サービスを提供できたかを、サービス提供終了後、児童発達管理責任者へ報告している。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			月一回の会議等で検討したり、社内研修等で記録の勉強会を実施。今後、記録委員会の運用を検討している。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要な利用者に関しては、同法人の訪問看護を利用している為、訪問看護と連携し主治医等と連絡体制を整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			現在まで移行の実績がないが、情報を提供できるように体制を整えて行く。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			共生型サービスの為、高齢者、障がい者、乳幼児等、交流の機会は常にある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や、連絡帳等で保護者とは毎回利用状況を伝えている。その中で課題等があれば、その都度、共通理解に努めている。	

29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
----	--	---	--	--	--

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者同士の連携は現状出来ていない。今後、保護者を含めた行事等を検討する。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3か月に1回、広報誌を作成し、保護者や関係機関等に配布している。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域住民の方がボランティアに來たり、見学等の実施は行っている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回通所介護（介護保険）の規定と合わせて実施する。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	当事業所では、身体拘束は実施していない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現状、対象者がいないが、今後、対象者がいれば実施する。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				